

協会ニュース

平成21年3月16日

中国地区品質経営協会
広島市西区横川町3丁目5番9号(世良ビル404号)
TEL(082)532-6844 FAX(082)532-6845
e-mail; qmac@a1.mbn.or.jp
URL; http://qmac.jp/

平成20年度「先進企業視察会」～ グローリー株式会社 ～

- ◆ 日時：平成21年2月24日(火) 13:30～17:00
- ◆ 場所：グローリー(株)本社 (姫路市下手野)
- ◆ 参加：14団体 20名

今年度は、最先端の「認識・識別技術」と「メカトロ技術」を武器に、通貨処理機のトップメーカーとしての地位を揺るぎないものとされているグローリー株式会社様(以下、グローリー)の本社を訪問させていただきました。グローリーは、1950年、国産初となる硬貨計数機を世に送り出されて以来、通貨処理機のパイオニアとして「認識・識別」「メカトロ」技術を磨いて来られ、紙幣硬貨を「数える」「見分ける」「束ねる」技術開発、商品開発において、常に、トップを走って来られています。2006年には、顧客満足度のさらなる向上を目指して、グローリー工業(株)とグローリー商事(株)の合併(製販一体化)を実施されたとのことでした。

当日のプログラムは以下のとおりです。

1. 案内ビデオによる会社紹介、ショールーム見学

… 国産初となる硬貨計数機から最新鋭の金融機関向け循環式入出金システムまで、グローリーの技術開発、商品開発の歴史と現況、そして、未来を見させていただきました。

2. 工場見学(板金工場、組立工場)

… セル生産方式の組立工程の状況に加えて、現場力アップをねらいに進められている生産革新活動の一端も見させていただきました。

3. 開発構造革新活動の概要説明

… 開発プロセスの変革に加えて、“開発マインド” “開発マネジメント” の革新に取り組まれているとのことのお話で、その方針・考え方は、非常に示唆に富む興味深いものでした。

4. メカレスデバック(シミュレーションを用いたソフト開発)実施事例の概要説明

… シミュレーション環境を作るためのプログラム開発の工数も気にならないレベルになっているとのこと、背景となるノウハウ蓄積の度合の高さと認識・識別に関するデータベースの存在を想起させるお話でした。

5. GUT(Glory Up Technique)S活動の概要説明

… QCサークル活動から発展させた現場の小集団活動で、全日本大会で銀賞を受賞するサークルが出るまでにレベルアップした背景には、確固とした活動方針、推進体制と経営層の全面的なバックアップがあることを窺い知ることが出来ました。

ショールーム見学、工場見学において万全の体制のもと懇切丁寧なご案内をいただき、また、概要説明後の質疑応答において、同席された取締役執行役員副社長の牛尾様はじめ説明者の方々が、皆それぞれに“熱い思い”を語っていただき、参加者一同、感謝の思いとともに、自律を尊び、ものの見方、哲学を大事にするグローリーの企業風土を強く印象づけられて、視察会を終えました。

